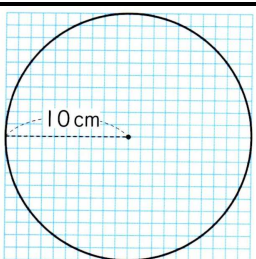


# 課題

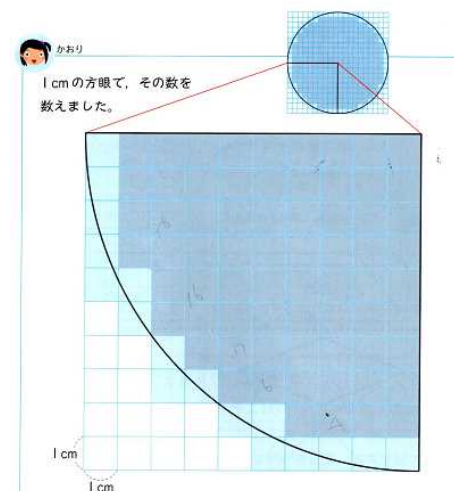
教科書で紹介されている、いくつかの円の面積の求め方を理解しよう！（自分たちが考えたものもあるかもしれませんね。）



## 方法①

円の面積は、 の  倍より大きく、 倍より小さい。

## 方法② (かおりさん)



の数は  個 .....   $\text{cm}^2$   
 の数は  個  
 この面積は半分と考えると...   $\text{cm}^2$   
 円の面積は、  $\times 4 =$        答え 約   $\text{cm}^2$

☆方法②の求め方では、半径10 cmの円の面積は、1辺10 cmの正方形の面積のおよそ何倍か？

## 方法③ (ひろきさん)

・一つの三角形  
 底辺 ...  cm  
 高さ ...  cm  
 面積 ...   $\times$    $\div 2 =$    
 ・円の面積  
  $\times 16 =$        答え 約   $\text{cm}^2$

☆方法③の求め方では、半径10 cmの円の面積は、1辺10 cmの正方形の面積のおよそ何倍か？  
 ☆正多角形の頂点の数をどんどん増やして調べると、どうなるか？  
 ☆方法②と③の結果を見て、何か気づいたか？